

ヨコハマ
砂の彫刻展
SAND ART EXHIBITION

2014/5/16

報道関係各位

News Release

横浜初上陸！日本・中国・韓国の作家による迫力の作品が集結！

『東アジア文化都市 2014 横浜 ヨコハマ砂の彫刻展』開催

～ 約 700 トンの鳥取砂丘の砂が、ヨコハマで巨大な彫刻に～

日中韓砂の彫刻展事務局では、『ヨコハマ砂の彫刻展』（主催：神奈川新聞社・2014 年東アジア文化都市実行委員会）を 2014 年 7 月 19 日（土）～11 月 3 日（月・祝）の期間において、横浜市中区本町 6 丁目（北仲通南地区）にて開催いたします。

■巨大な砂の彫刻群

最大で全長 16m、高さ 3mにも及ぶ砂の彫刻作品群が横浜市中区本町 6 丁目（北仲通南地区）という、JR桜木町駅とみなとみらい線馬車道駅の間の敷地に出現します。

今回の『ヨコハマ砂の彫刻展』では、横浜市の事業である「東アジア文化都市 2014 横浜」の一環で開催され、日本、中国、韓国の世界遺産や歴史的建造物を、世界から集まる砂像彫刻家達が彫り表わします。

■砂の彫刻／砂像（さぞう）とは

砂を固めて積み上げ、ピラミッド状の構造体を作ります。その塊から彫り上げていく、ダイナミックな彫刻のこと。砂の締め固めに使うのはなんと、水だけ。今回の展示では、横浜市水道局の協力のもと、横浜の水と鳥取砂丘の砂が使用されます。

■鳥取砂丘 砂の美術館の全面協力

鳥取砂丘 砂の美術館への来場者は年々増加傾向にあり、昨年は 55 万人の観光客が訪れ、2012 年には専門施設が開館するほどの観光資源に発展しています。

この鳥取砂丘 砂の美術館の全面協力のもと、今回の巨大な砂像作品制作のために鳥取砂丘から約 700 トンにも及ぶ砂が運ばれてきます。これは、緻密な砂像の制作過程において、きめの細かい鳥取砂丘の砂が適しているためです。

さらに砂の美術館において、テーマ設定から作品制作まで監修を務める茶圓勝彦氏が、『ヨコハマ砂の彫刻展』でも、芸術プロデューサーとして作品制作の全指揮を執ります。

茶圓氏は、日本で数少ないプロ砂像彫刻家として、ニューズウィーク日本版にて世界が尊敬する 100 人の日本人にも選ばれたことがあるほど、その功績が認められています。

■鳥取砂丘の砂場「ミニ鳥取砂丘」、日中韓の料理、そしてライトアップ

会場では、「ミニ鳥取砂丘」をイメージして、鳥取砂丘の砂を集めた砂場が設置されます。砂像づくりや砂像彫刻家と一緒に作品作りなど、様々なワークショップを実施。通常時は、自由に砂遊びもしていただけます。

フードエリアでは、日中韓の各国の料理とビールやドリンクを販売します。さらに、夜になると作品群がカラフルにライトアップされ、作品に光の陰影が生まれ、昼間とは違った雰囲気の中で作品をご覧いただきながら、気の合った仲間やご家族、恋人とお楽しみいただけます。

※本資料については、文部科学記者会、横浜市政記者会、横浜経済記者クラブにて、配布しております。

添付資料

— 記 —

- タイトル 東アジア文化都市 2014 横浜 『ヨコハマ砂の彫刻展』
- 会期時間 夏期：7月19日(土)～8月31日(日)11：00～21：00
秋期：9月1日(月)～11月3日(月・祝)10：00～20：00
- 会 場 中区本町6丁目(横浜市 北仲通南地区)
みなとみらい線馬車道駅出口1aから徒歩1分、
JR桜木町駅から徒歩5分
- 主 催 神奈川新聞社・2014年東アジア文化都市実行委員会
- 作品監修 芸術プロデューサー：茶圓勝彦
※別紙、プロフィール参照
- 協 力 鳥取砂丘 砂の美術館、横浜市水道局
- 事 務 局 日中韓砂の彫刻展事務局
お問合せ：Tel.045-681-3734 (平日10：00～17：00)
公式HP：<http://yokohamasand.jp/>
twitter：<https://twitter.com/yokohamasand>
※ツイッターでは公式HPの更新情報や即時性の高い情報をお伝えします。
facebook：<https://www.facebook.com/sandyokohama>
※フェイスブックではイベント開催前までは、作品の制作過程などを、
開催後は今後のワークショップの予定などを中心にお伝えします。

以上

■読者の方のお問合せ先

日中韓砂の彫刻展事務局 (平日10：00～17：00) Tel：045-681-3734

■記者・編集者の方のお問合せ先

(株)横浜アーティスト／担当：清水

〒231-0023 横浜市中区山下町1 シルクセンター4F

Tel：045-681-3732／Fax：045-681-3735／E-mail：kazu-s@y-artist.co.jp

添付資料

■『ヨコハマ砂の彫刻展』展示コンセプト

今から遡ること 155 年前。横浜は海に面した静かな地域でしたが、ペリーの来航から港が繁栄し文化が往来し、日本有数の都市となっていました。

2014 年は、東アジア域内での文化芸術による発展を目指す「東アジア文化都市」として横浜市（日本）・泉州市（中国）・光州市（韓国）が選定され、さらに文化芸術・クリエイティブ産業・観光における交流の推進を目指しています。

今展覧会では、日本最大級の海岸砂丘である鳥取砂丘の砂を素材に、彫刻作品を創り上げていきます。

制作に携わるのは日本・中国・韓国をはじめ、世界の砂像彫刻家達。率いるは、日本に数少ないプロの砂像彫刻家・茶園勝彦さんです。

地球の記憶が込められた砂による造形から、それぞれの悠久の歴史を邂逅し、互いの文化を讃え、新たな共感や対話を生む機会となることを目指しています。

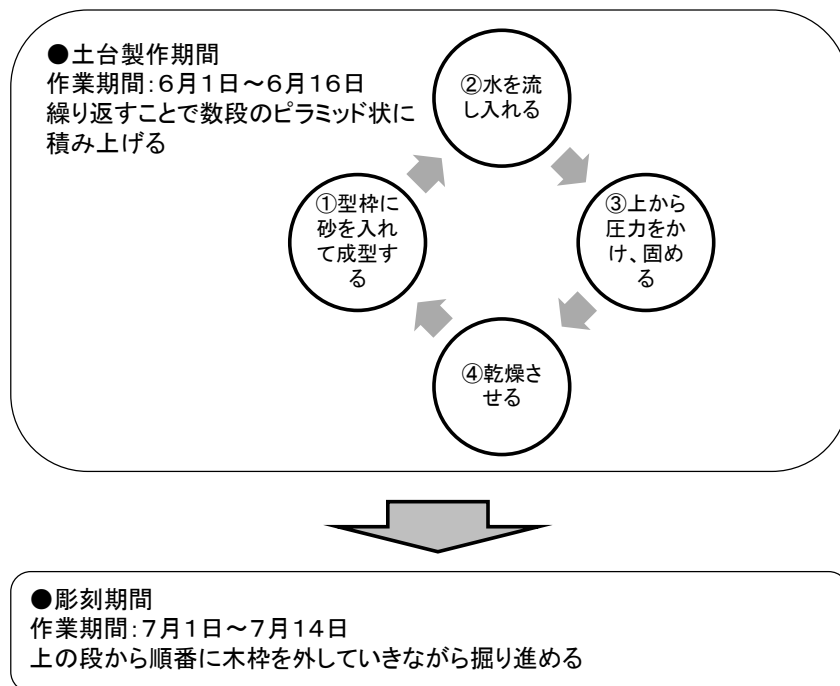
■鳥取砂丘 砂の美術館

鳥取砂丘にそびえる、世界初・砂像のための展示施設。

2012 年 4 月の開館より砂で創り上げる精巧で壮大な物語が、見る人を楽しませています。

「砂で世界旅行」をコンセプトに毎年作品を作り替え、今年はロシア編を開催中。

■砂像制作工程



■芸術プロデューサー茶園勝彦氏

砂像彫刻家・鳥取砂丘 砂の美術館のプロデューサー。1987 年よりアメリカ、イタリアをはじめ世界を舞台に活躍を続ける、日本では数少ない砂像彫刻家。2009 年「ニューズウィーク日本版」『世界が尊敬する 100 人の日本人』にも選ばれている。